

令和元年9月26日 校長 高倉 満

□ふれあいキャンプ・職場体験・勉強合宿 お疲れさまでした！

天候にも恵まれて、事故やケガもなく終わられて嬉しく思います。これも夏休みから先生方が計画し、施設や事業所との連絡を丁寧に行い、生徒の活動をしっかりと仕組んでいただいたおかげだと感謝します。ふれあいキャンプ、勉強合宿については年度当初から、今後の実施についてのご意見もありました。総合の取組全体を考えて、負担が大きい内容は見直していくことも必要だと思います。ぜひ代案を含めてそれぞれの学年でご意見を出していただき、職員で論議してもらえたらと思います。



□あらためてゴールイメージをもちましょう！

一学期に学年目標や学級目標を決めました。思うようにいかない場合もあります。あまり決めたことにこだわらないで、あらためて「3月には、きっとこんなふうに成長している」というゴールイメージをもって、生徒と共に二学期の目標を決めていきましょう。一学期は体育祭をはじめ先生方が生徒の良さを見つけ、ほめる場面も多くあったと思います。そして先生と生徒の「縦の糸」が強くなってきたと思います。二学期はさらに集団に目を向けて生徒同士の横のつながりを強め深める時です。

行事の取組はもちろん、授業の中で、つながりを強めるための場や時間を確保することも必要です。

また、一学期に上手くいかなかった生徒に「どうしてお前ばかり・・・」と、無理に押しつけようとすると、反発するか、無視するか、諦めるか、さらに問題をかかえる生徒になるかもしれません。

「変わりなさい」というよりか指導の仕方を単線から複線で行う方が良いと思います。例えば授業の中で表現方法を変える、付箋やイラスト、図式化など、思考ツールを変えるやディベートのように、立場を決めて話し合う等。生育歴や家庭環境、特性など生徒の背景は様々です。マイナス行為や現象の非難だけでなく「あなたの気持ちは分かる」といったんその生徒の内側の思いを受け入れながら、生徒の得意な事を活かし、みんなに認められることで、その子らしさが発揮させられるかもしれません。大変難しく、根気のいることです。だからこそ職員がまとまって指導にあたるのが大切です。ベテランの先生方の経験を若い先生方に伝えていくことも必要ですね。

□長先生 授業力向上研修会（社会科）授業公開 10月1日（火）5時間目

○身近な地域の調査 「うきは市道の駅が九州道の駅満足度で、なぜ4年連続1位かについて考える」
30名程の先生方が参観に来て協議会が行われます。長先生は夏休みから指導案の審議を指導主事と何度も重ねながら授業をつくってきました。道の駅長さんからの聞き取り、生産者からの聞き取りなど本当に大変だったと思います。当日はタブレットを使いながらの工夫された授業になると思います。

2年1組での授業です。時間のある先生はぜひのぞいてください。よろしくお願ひします。

駐車場を東門側の駐車場にしています。玄関までの誘導を協力していただけると助かります。

◇中間面談を行います！

一学期に目標設定をしていただきました。その実施状況や今後の取組について面談をしたいと思います。また次年度についての先生方の考えや希望を聞けたらと考えています。お忙しい中ですので、私が声をかけさせていただきます。時間が無い時は遠慮しないで伝えてください。

10月中には終わりたいと考えています。